

2020年11月期 第2四半期

# 決算説明会



株式会社マルカ

証券コード：7594

2020年7月15日

1.	新型コロナウイルス感染症の影響	3
2.	2020年11月期 第2四半期決算の概要	
①	2020年11月期 第2四半期決算	5
②	産業機械部門の業績	14
③	建設機械部門の業績	19
3.	2020年11月期 業績予想及び営業戦略の進捗	
①	2020年11月期 業績予想	23
②	営業戦略の進捗（産業機械・グローバル機材部門）	25
③	営業戦略の進捗（建設機械部門）	31
4.	中期経営計画	
①	中期経営計画の概要	33
5.	株主還元	
①	株主還元	37
	(補足資料)	
	会社の概要	39

# 新型コロナウイルス感染症の影響

## 1. 事業環境

- ・国内は緊急事態宣言が発令され、企業活動の自粛等に伴い事業環境が急激に悪化し、先行き不透明な状況で推移
- ・海外においても、厳しい外出規制による事業活動の停滞により、景気は大きく減速

## 2. 感染拡大防止への取り組み

- ・対策本部を設置し、情報収集、各種対策を主導
- ・各種会議の中止や出張等の禁止
- ・時短勤務、在宅ワークの実施
- ・アルコール消毒液の設定、マスク着用や3密回避などの感染防止を従業員に徹底

## 3. 業績への影響

- ・国内・海外とも、自動車業界を中心に投資計画の先送りや営業活動の制限により売上が減少
- ・グループ会社の資金繰りについては、十分な手元資金・調達枠を確保しており、現在のところ、問題なし

# 2020年11月期 第2四半期 決算の概要

(2019年12月1日～2020年5月31日)

売上高は前年同期比18.3%減の278億円、営業利益は同27.3%減、経常利益は21.9減となり、減収減益

四半期純利益は、前第2四半期に計上した固定資産売却益の剥落により前年同期比64.0%減

- 産業機械部門は、自動車業界向けの販売が減少し、前年同期比18.5%の減収
- 建設機械部門は、基礎業界向けの販売が減少し、前年同期比17.2%の減収

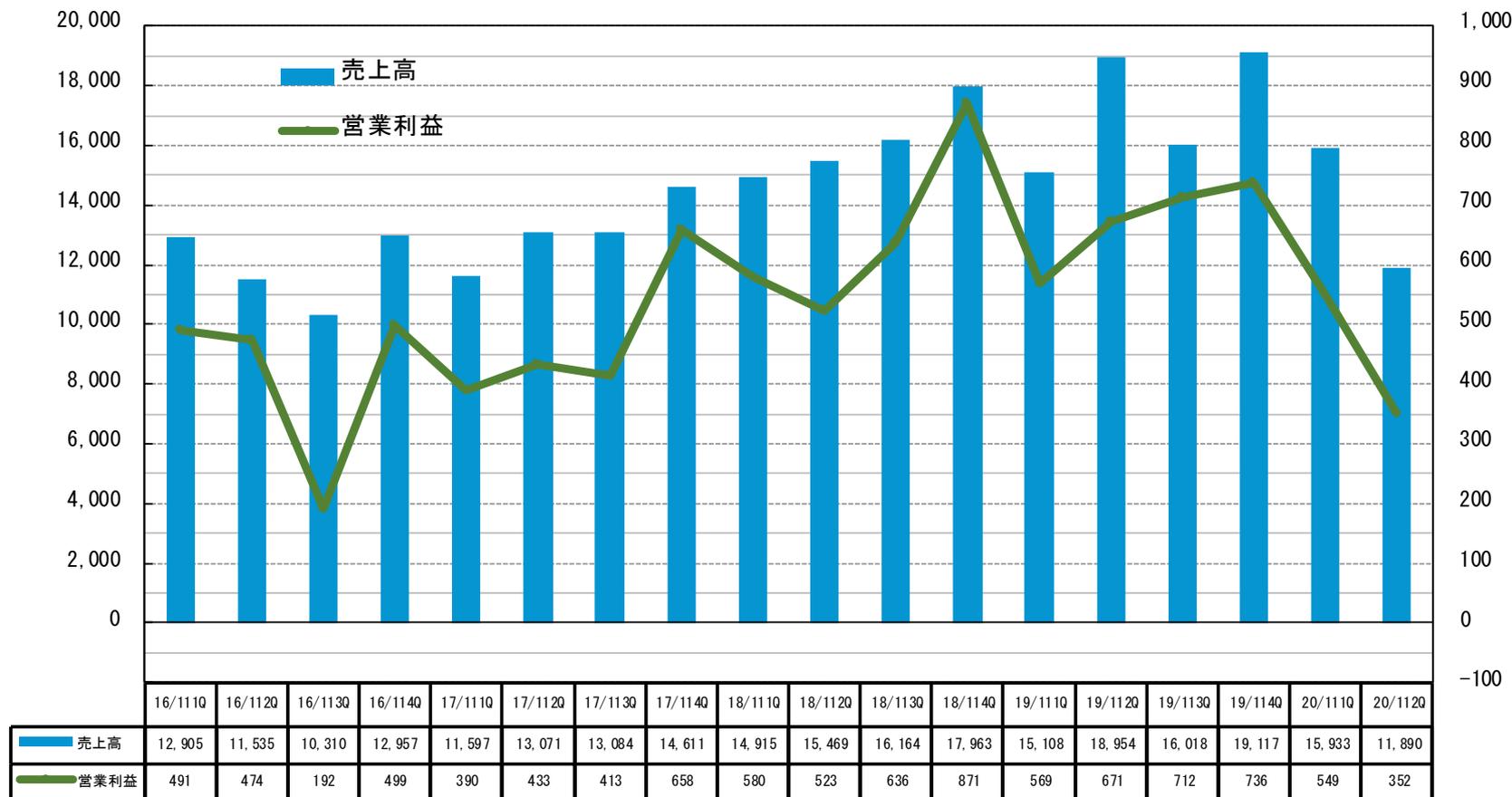
国内売上高は、鍛圧機械、ロボット・搬送機機械等の販売が減少し、前年同期比4.7%減の184億円

海外売上高は、自動車部品輸出事業からの撤退の影響により、前年同期比36.2%減の94億円（海外売上高比率43.2%→33.8%に低下）

- 米州は、精密機械や、医療機器製造業界向け工作機械の販売が減少
- 中国及びアジアは、自動車部品、工作機機械の販売が減少

売上高： 百万円

営業利益： 百万円



単位：百万円

	16/11期		17/11期		18/11期		19/11期		20/11期
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期
売上高	24,441	23,266	24,668	27,694	30,384	34,127	34,062	35,135	27,823
営業利益	965	691	823	1,071	1,103	1,507	1,240	1,448	901

## 第2四半期決算の概要

- 主力商品の販売が減少。産業機械、建設機械とも減収減益
- 四半期純利益は、前第2四半期に計上した固定資産売却益の剥落あり

単位：百万円

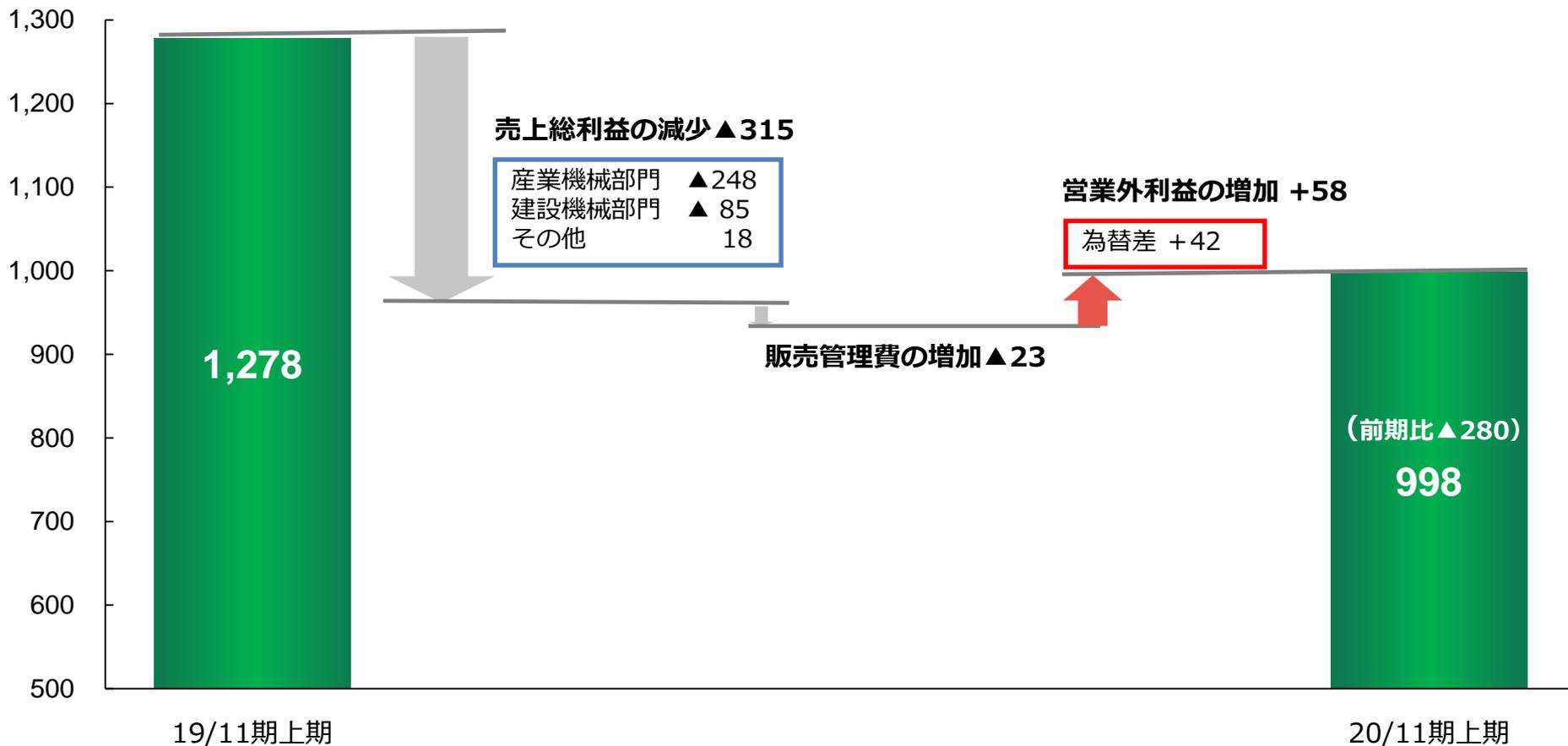
	19/11期 上期		20/11期 上期		前年 同期比 (%)	期初計画 (20/1/15)	同計画比 (%)
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)			
売上高	34,062	100.0	27,823	100.0	▲ 18.3	31,500	▲ 11.7
産業機械	28,725	84.3	23,401	84.1	▲ 18.5	26,825	▲ 12.8
建設機械	5,307	15.6	4,396	15.8	▲ 17.2	4,640	▲ 5.3
その他	29	0.1	25	0.1	▲ 13.1	35	▲ 28.6
売上総利益	4,484	13.2	4,146	14.9	▲ 7.6	4,500	▲ 7.9
販売管理費	3,222	9.5	3,245	11.7	0.7	3,300	▲ 1.7
営業利益	1,240	3.6	901	3.2	▲ 27.3	1,200	▲ 24.8
経常利益	1,278	3.8	998	3.6	▲ 21.9	1,250	▲ 20.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,690	5.0	608	2.2	▲ 64.0	850	▲ 28.4
1株当たり四半期純利益	200.07円	—	72.74円	—	—	100.99円	—

1株当たり配当金	24円	—	24円	—	—	24円	—
人	658人	—	730人	—	+72人	—	—

(※) 人員の増加は、主に株式会社ミヤザワの子会社化による増加

- 売上総利益は、売上高の減少に伴い大幅減
- 販売管理費は微増

単位：百万円



東京支社移転に伴い支払家賃が増加。出張旅費が減少

単位：百万円

	19/11期上期	20/11期上期	増減額	主な要因
人件費	1,929	1,942	13	
旅費・交通費等	372	324	▲ 48	出張旅費減
支払家賃	195	221	26	東京支社移転
営繕・事務用品等	69	76	7	
減価償却費	63	70	7	
その他	594	612	18	
合計	3,222	3,245	23	


 総資産は売上債権が減少し、現預金が増加  
 仕入債務は買掛金の支払により減少、有利子負債はマルカ・アメリカの借入金が増加

### 資産

	19/11期末	20/11期 上期末	備 考
現金預金	9,186	9,675	
売上債権	25,658	19,179	電子記録債権▲1,205 売掛金 ▲5,159
その他流動資産	7,235	7,530	
有形固定資産	6,575	6,560	
無形固定資産	437	511	
その他固定資産	2,434	2,227	
総資産	51,528	45,684	

### 負債・純資産

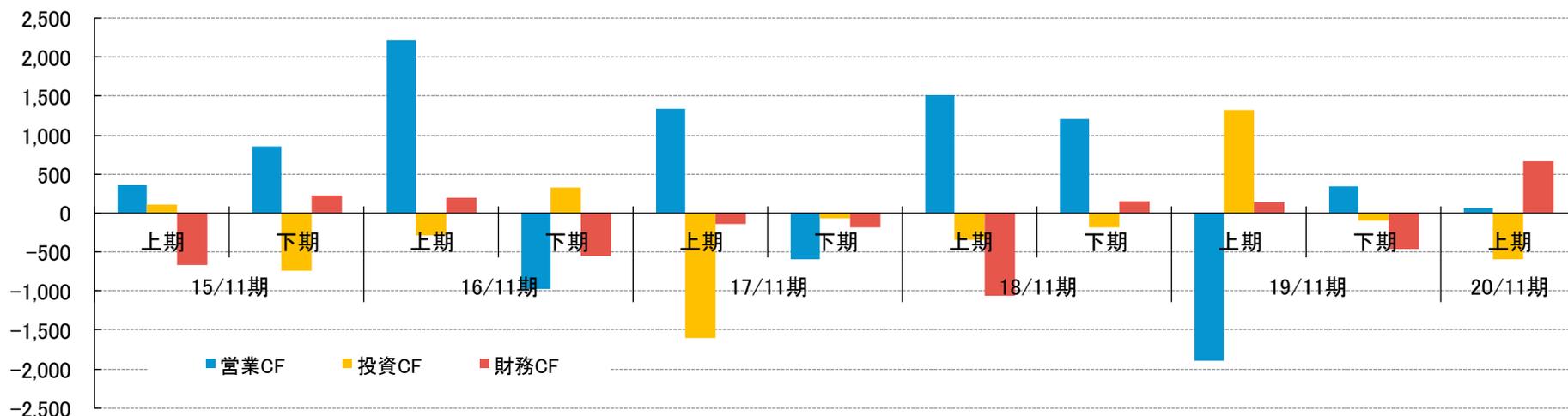
単位:百万円

	19/11期末	20/11期 上期末	備 考
仕入債務	21,579	14,936	電子記録債務▲1,950 買掛金▲4,691
短期有利子負債	1,212	2,458	借入金 1,214 (マルカアメリカ他)
その他流動負債	4,184	3,805	
長期有利子負債	930	907	
その他固定負債	372	351	
負債	28,280	22,459	
純資産	23,248	23,224	剰余金の配当▲240、 自己株式の取得▲179、 四半期純利益の計上608

単位：百万円

	15/11期		16/11期		17/11期		18/11期		19/11期		20/11期
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期
営業活動によるCF	357	849	2,221	▲ 975	1,333	▲ 590	1,515	1,212	▲ 1,890	347	69
投資活動によるCF	101	▲ 748	▲ 288	334	▲ 1,598	▲ 73	▲ 344	▲ 185	1,327	▲ 96	▲ 595
フリーキャッシュフロー	458	101	1,933	▲ 641	▲ 265	▲ 663	1,171	1,027	▲ 563	251	▲ 526
財務活動によるCF	▲ 665	219	195	▲ 551	▲ 135	▲ 181	▲ 1,066	145	131	▲ 458	662
期末現金残高	8,698	8,723	10,724	9,398	8,993	8,144	8,254	9,424	8,996	8,772	8,950
設備投資額	200	370	88	752	1,450	811	186	516	378	101	171
減価償却費	99	111	119	133	136	173	155	170	180	209	213

単位：百万円

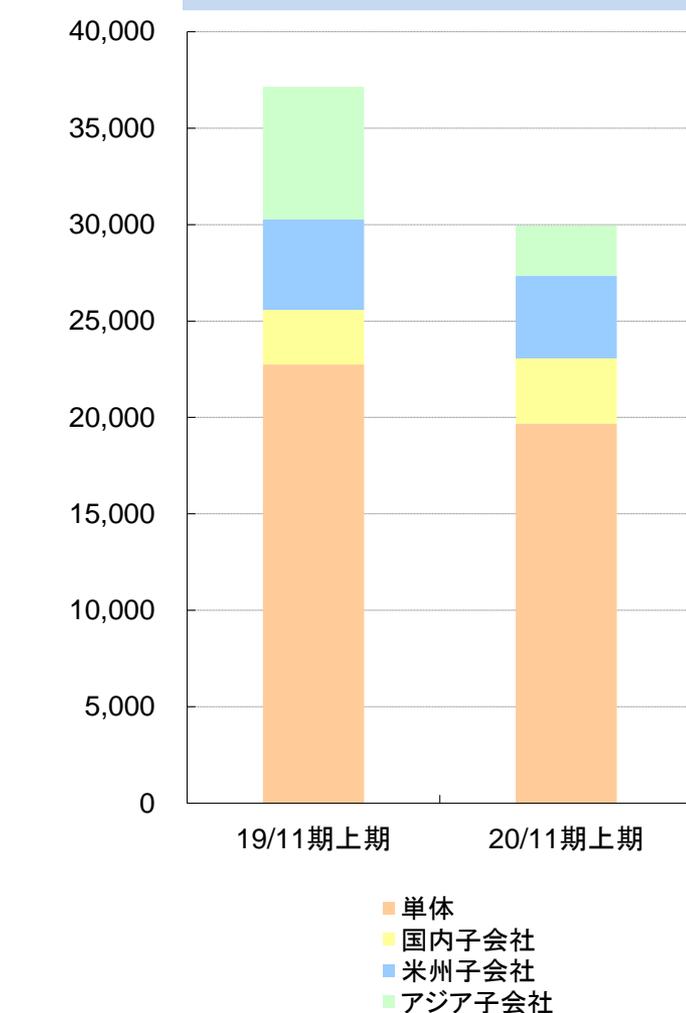


国内はマルカ単体が減少。子会社は、国内が伸長、海外が大幅減

単位:百万円

	売上高		営業利益		経常利益	
	19/11期	20/11期	19/11期	20/11期	19/11期	20/11期
	上期	上期	上期	上期	上期	上期
連結	34,062	27,823	1,240	901	1,278	998
単体	22,752	19,683	898	700	1,094	815
国内子会社	2,824	3,370	87	220	112	234
海外子会社	11,562	6,893	239	25	237	59
連結消去	▲ 3,077	▲ 2,124	15	▲ 14	▲ 166	▲ 110

売上高の推移(連結消去前)



売上高の前上期対比

マルカ単体	国内子会社	米州子会社	アジア子会社
↘	↗	↗	↘

# 産業機械部門



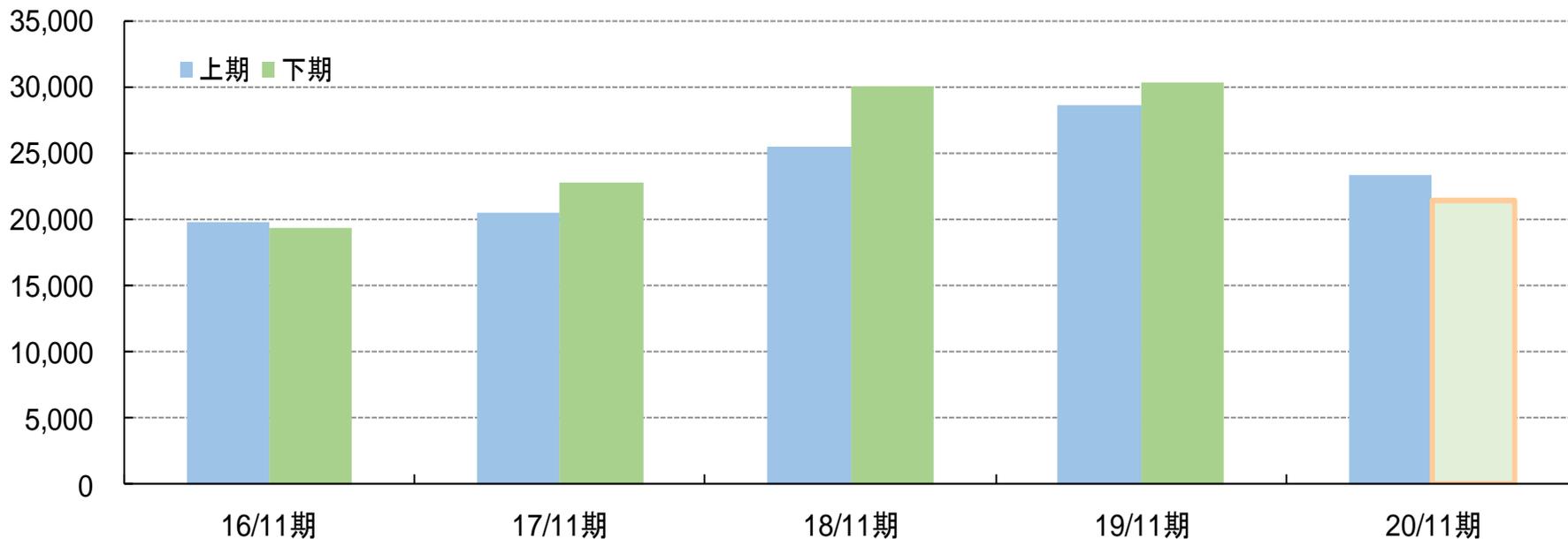
上期に続き下期も減少する見通し

単位：百万円

	16/11期	17/11期	18/11期	19/11期	20/11期	前年同期比(%)
上期	19,824	20,483	25,577	28,725	23,401	▲ 18.5
下期	19,378	22,748	30,040	30,351	21,491	▲ 29.2
合計	39,202	43,231	55,617	59,076	44,893	▲ 24.0

※20/11期下期・合計は計画数値

単位：百万円

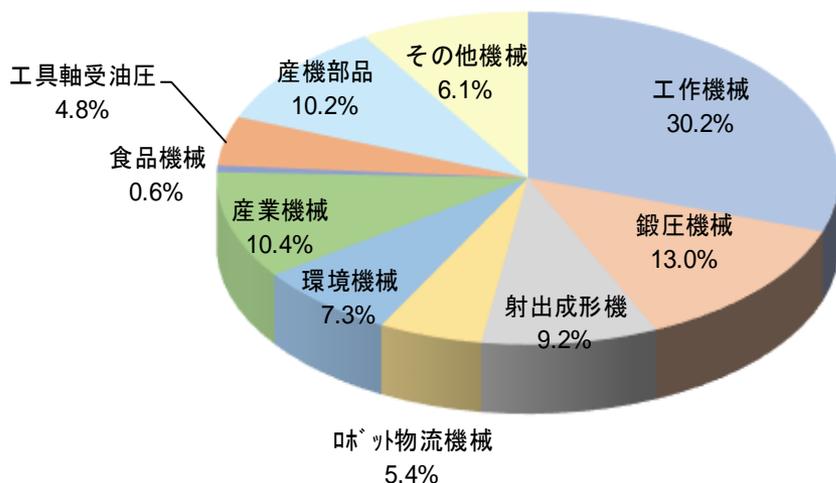


主力の工作機械、鍛圧機械が二桁減収。ロボット・物流機械や環境機械も大幅減  
 射出成形機、食品機械は伸長

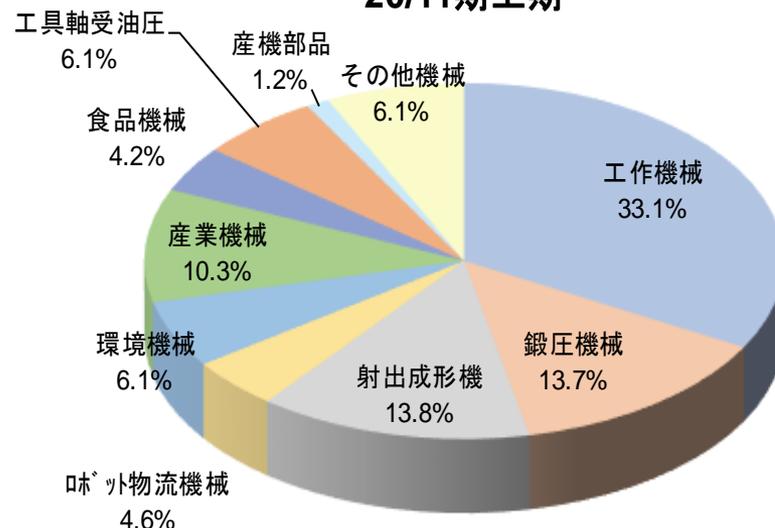
単位：百万円

	産業機械計										
	工作機械	鍛圧機械	射出成形機	ロボット 物流機械	環境機械	産業機械	食品機械	工具軸受 油圧	産機部品	その他 機械	
19/11期上期	28,725	8,678	3,739	2,632	1,546	2,108	2,999	182	1,370	2,939	2,527
20/11期上期	23,401	7,736	3,196	3,232	1,078	1,427	2,408	976	1,432	270	1,641
前年同期比 (%)	▲ 18.5	▲ 10.8	▲ 14.5	22.8	▲ 30.3	▲ 32.3	▲ 19.7	434.7	4.5	▲ 90.8	▲ 35.1

19/11期上期



20/11期上期



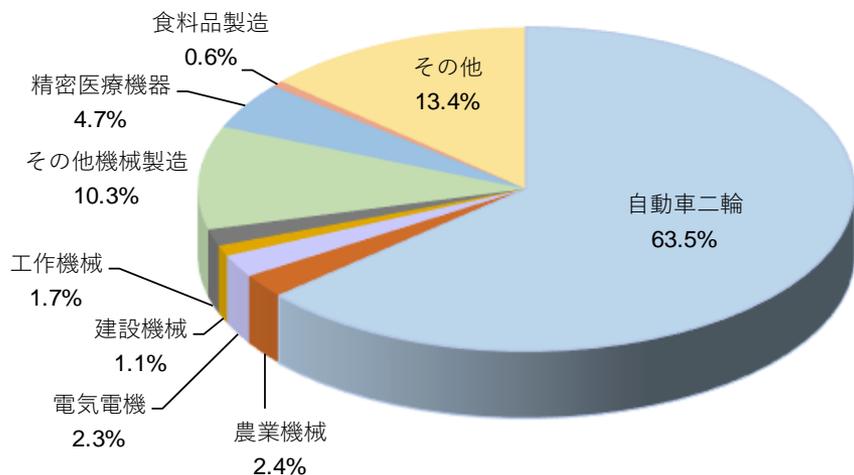
※ グラフ内「%」は産業機械部門の売上高に対する比率

自動車業界向けをはじめ総じて減少。食料品製造向けは伸長

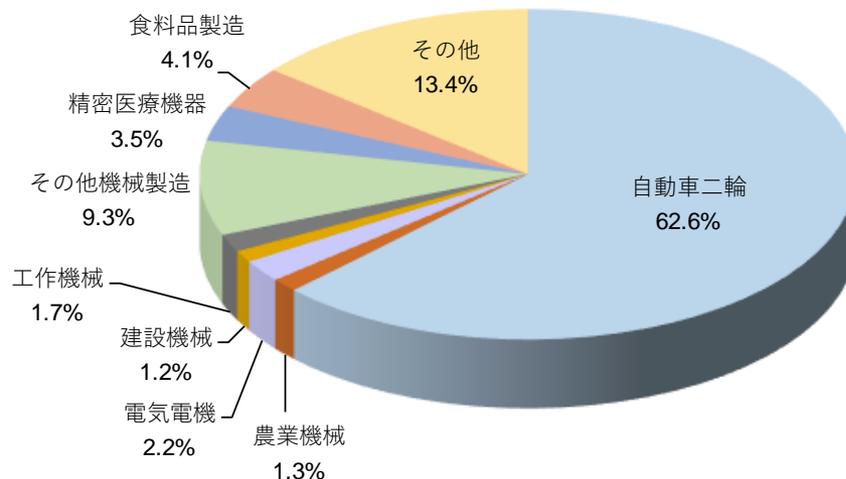
単位：百万円

	産業機械計									
	自動車二輪	農業機械	電気電機	建設機械	工作機械	その他機械製造	精密医療機器	食料品製造	その他	
19/11期上期	28,725	693	651	304	482	2,967	1,348	176	3,850	
20/11期上期	23,401	314	506	270	406	2,168	809	965	3,310	
前年同期比 (%)	▲ 18.5	▲ 54.6	▲ 22.3	▲ 11.0	▲ 15.7	▲ 26.9	▲ 39.9	445.8	▲ 14.0	

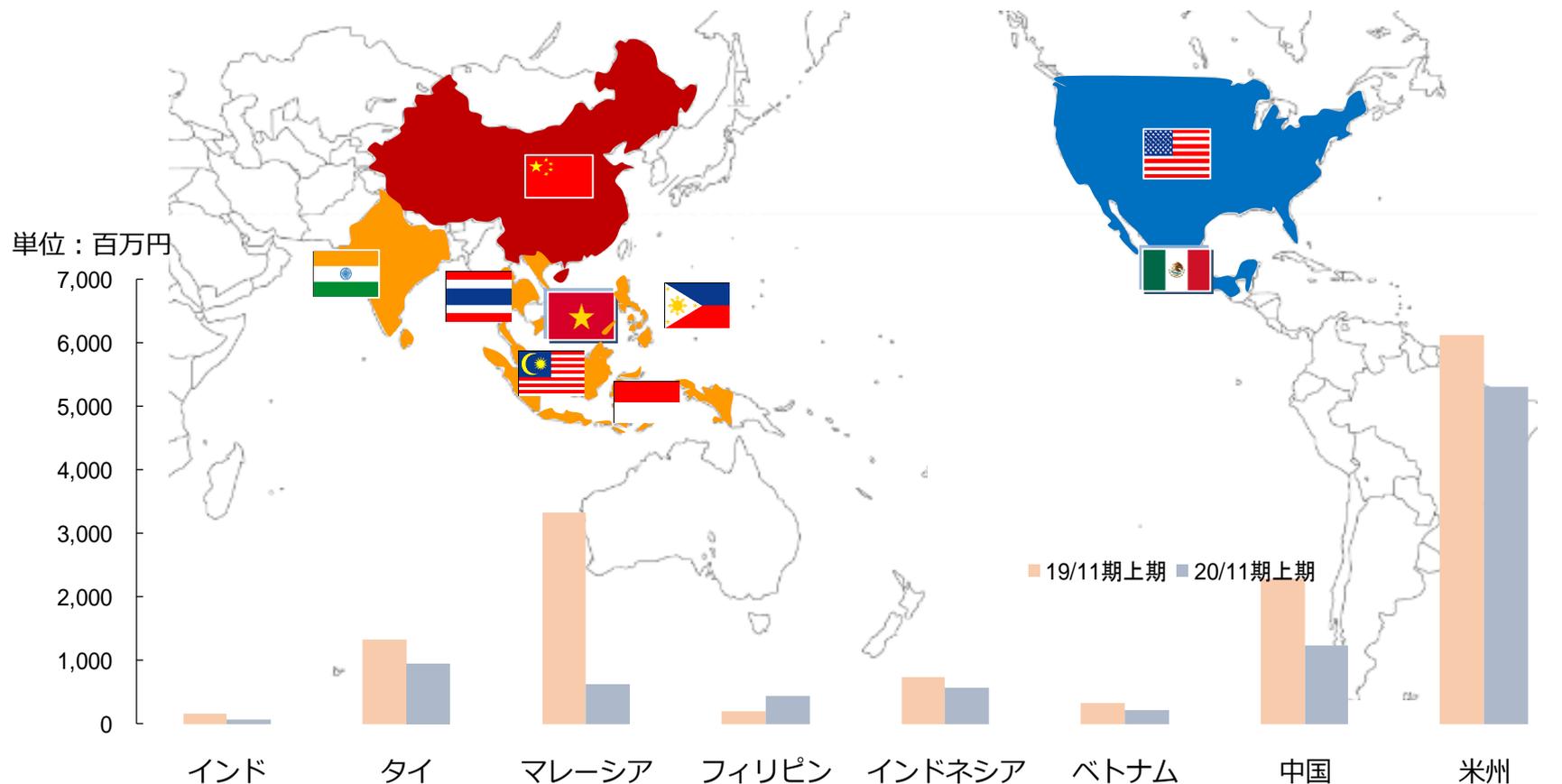
19/11期上期



20/11期上期



※ グラフ内「%」は産業機械部門の売上高に対する比率



単位：百万円

拠点	インド	タイ	マレーシア	フィリピン	インドネシア	ベトナム	中国	米州	その他	海外計
19/11期上期	159	1,328	3,328	197	739	318	2,292	6,132	93	14,590
20/11期上期	67	943	626	439	564	209	1,228	5,317	0	9,396
前年同期比(%)	△ 57.7	△ 28.9	△ 81.2	123.1	△ 23.6	△ 34.5	△ 46.4	△ 13.3	△ 99.8	△ 35.6

# 建設機械部門



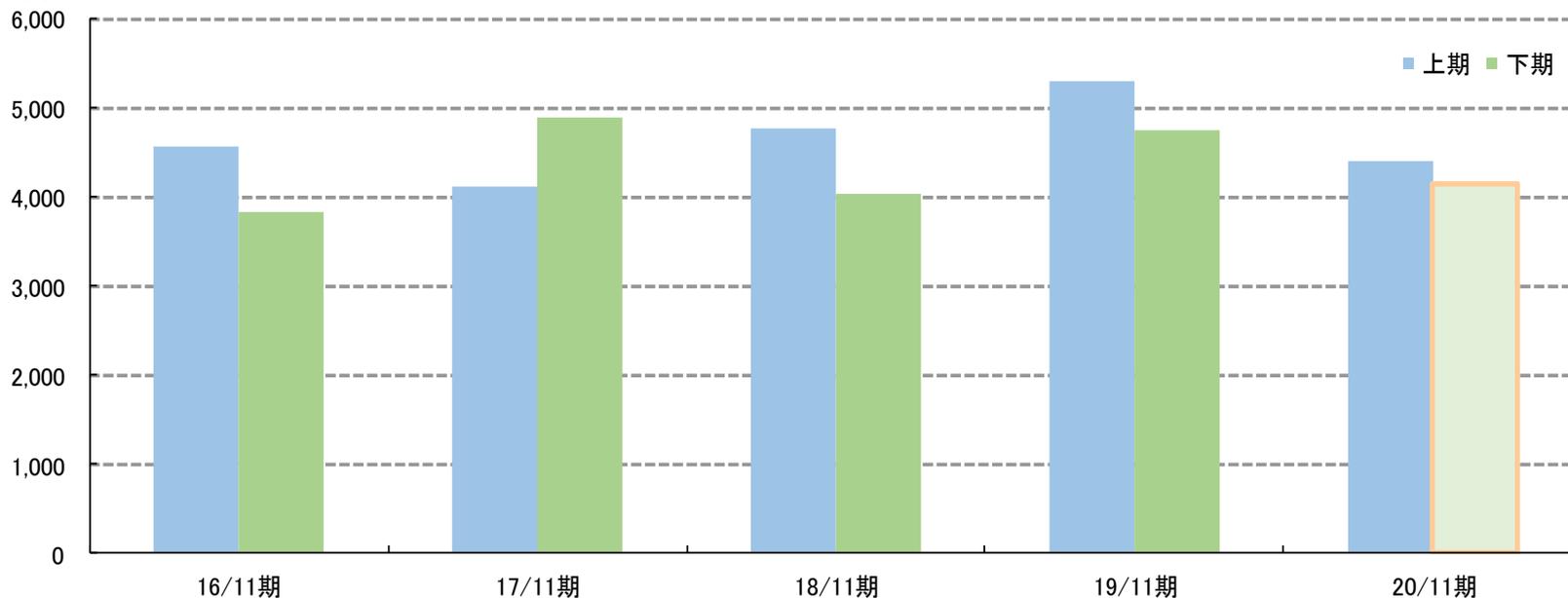
基礎機械が大幅減、下期も厳しい状況が続くと予想

単位：百万円

	16/11期	17/11期	18/11期	19/11期	20/11期	前年同期比(%)
上期	4,573	4,124	4,778	5,307	4,396	▲ 17.2
下期	3,829	4,902	4,047	4,748	4,148	▲ 12.6
合計	8,403	9,026	8,825	10,055	8,544	▲ 15.0

※20/11期下期・合計は計画数値

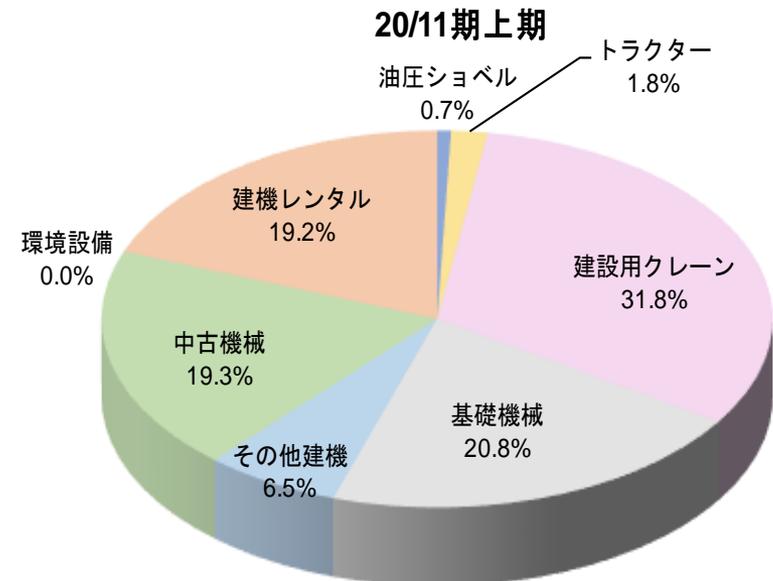
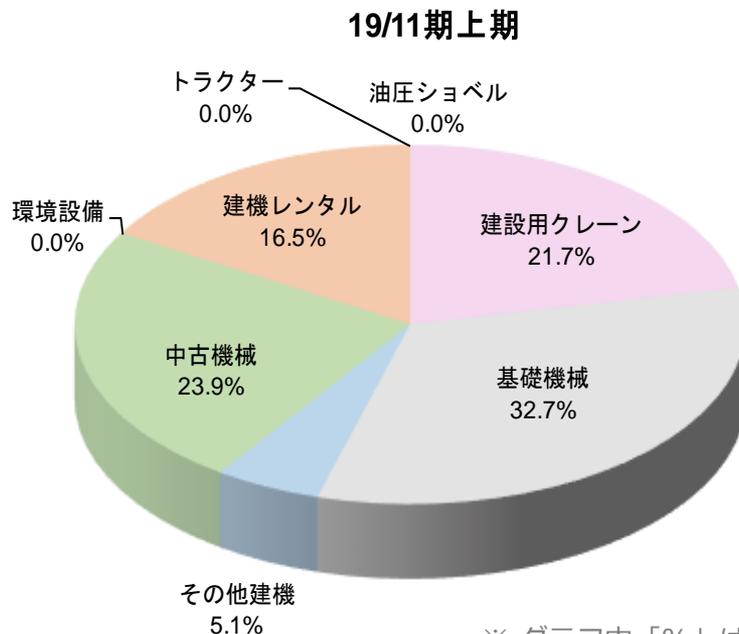
単位：百万円



主力の建設用クレーンが堅調も、基礎機械や中古機械が大幅減。レンタルは堅調

単位：百万円

	建設機械計								
	油圧ショベル	トラクター	建設用クレーン	基礎機械	その他建機	中古機械	環境設備	建機レンタル	
19/11期上期	5,307	-	1,153	1,737	271	1,268	1	876	
20/11期上期	4,396	29	1,395	915	286	848	0	842	
前年同期比(%)	▲ 17.2	-	21.1	▲ 47.3	5.4	▲ 33.1	▲ 47.6	▲ 3.8	



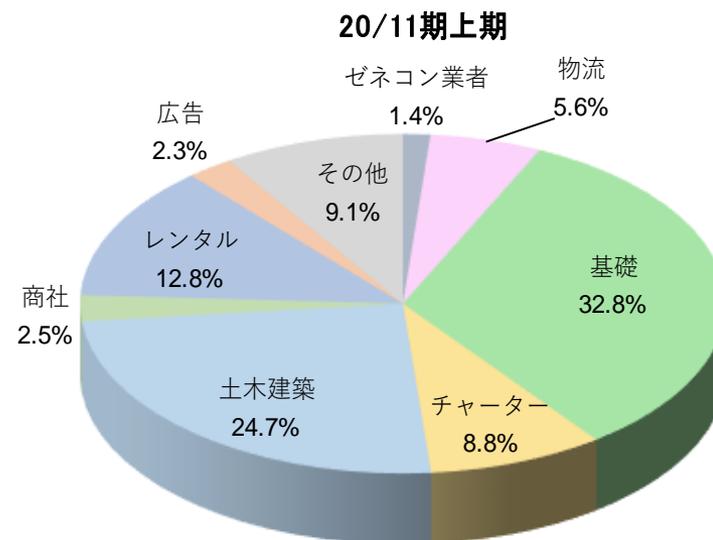
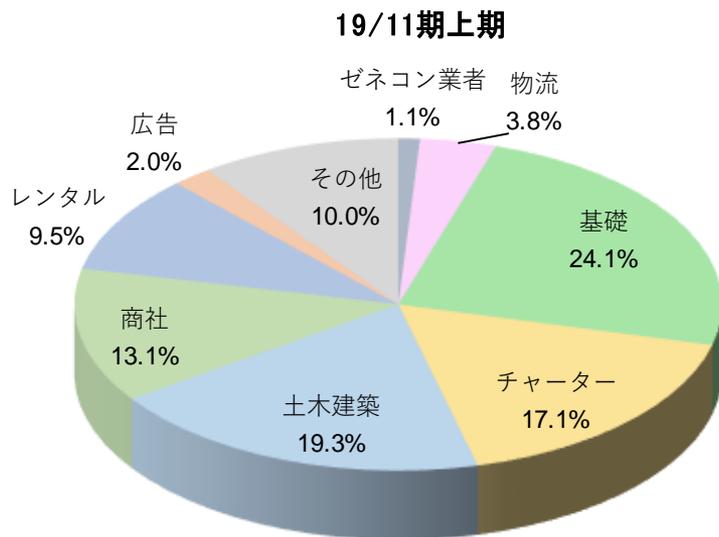
※ グラフ内「%」は建設機械部門の売上高に対する比率

## チャーター、商社向けが減少

単位：百万円

	建設機械計									
	ゼネコン業者	物流	基礎	チャーター※	土木建築	商社(輸出)	レンタル	広告	その他	
19/11期上期	5,307	57	202	1,276	907	1,024	695	505	105	532
20/11期上期	4,396	60	246	1,441	387	1,085	109	563	102	398
前年同期比(%)	▲ 17.2	5.4	21.4	12.9	▲ 57.3	6.0	▲ 84.2	11.5	▲ 2.1	▲ 25.2

※チャーター＝オペレーター付きで、クレーンの吊上げ作業等を請け負う工事業者



※ グラフ内「%」は建設機械部門の売上高に対する比率

# 2020年11月期 業績予想及び営業戦略の進捗

(2019年12月1日～2020年11月30日)

- 上期結果を踏まえ、新型コロナウイルス感染拡大による影響を織り込み、業績予想を修正
- 国内・海外ともに自動車業界を中心に投資計画の先送りや外出自粛要請による営業活動制限等は少なくとも今期末までは継続するものと予想

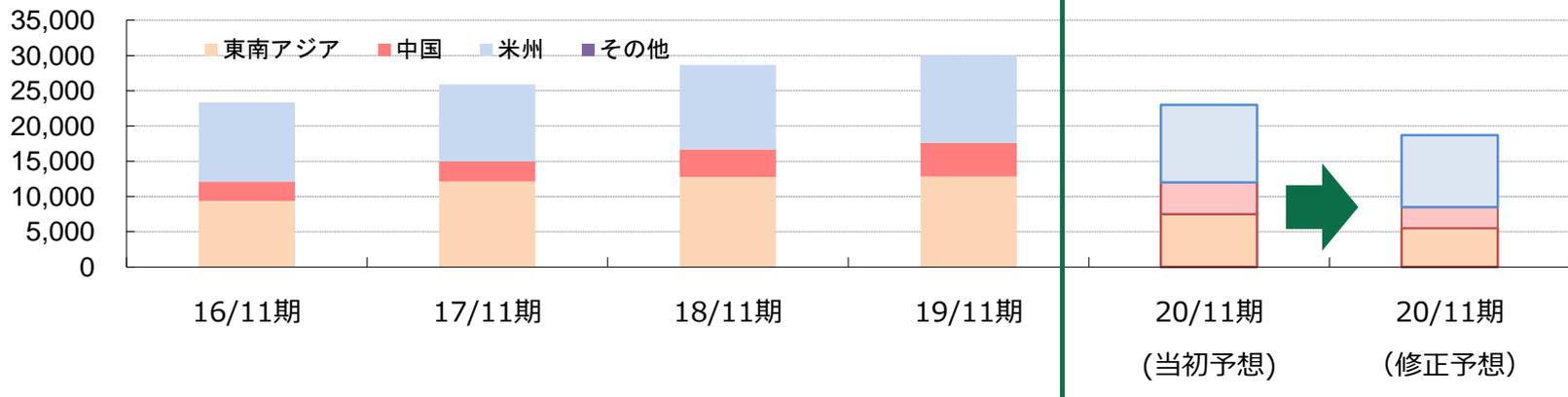
単位：百万円

	19/11期	20/11期予想			
		期初予想	前期比	修正予想	前期比
売上高	69,197	63,000	▲9.0	53,500	▲22.7
産業機械	59,076	53,650	▲9.2	44,893	▲24.0
建設機械	10,055	9,280	▲7.7	8,544	▲15.0
その他	65	70	7.7	63	▲3.1
売上総利益	9,107	9,100	▲0.1	8,200	▲10.0
販売管理費	6,384	6,700	4.9	6,600	3.4
営業利益	2,688	2,400	▲10.7	1,600	▲40.5
経常利益	2,741	2,500	▲8.8	1,800	▲34.3
親会社に帰属する当期純利益	2,694	1,700	▲36.9	1,200	▲55.5
1株当たり当期純利益	318.94円	201.97円	—	143.47円	—
期末(想定)為替レート米ドル/円	109.56円	107.00円	—	107.00円	—
1株当たり配当金	52円	52円	—	52円	—

単位：百万円

	16/11期	17/11期	18/11期	19/11期	20/11期 (期初予想)	20/11期 (修正予想)
米州	11,279	10,916	11,978	12,397	11,000	10,200
中国	2,680	2,840	3,909	4,771	4,500	3,000
東南アジア(含むインド)	9,393	12,153	12,771	12,831	7,500	5,500
その他	4	0	15	54	0	0
海外売上合計	23,357	25,910	28,674	30,053	23,000	18,700
海外売上高比率(%)	49.0	49.5	44.4	43.4	36.5	35.0
期末為替レート	112円42銭	112円07銭	113円49銭	109円56銭	107円00銭	107円00銭

単位：百万円



# 米 州

**事業環境** 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、不透明感が続くと予想

- **北米における工作機械販売テリトリーの拡大**
  - ・今上期の北米における工作機械の売上高は、自動車業界を中心に13億円（前年同期比48%減）
- **ITI社、管製作所製品とのシナジーの更なる強化**
  - ・今上期のITI社の売上は2.9億円（前年同期比28%減）
- **北米市場における電動射出成形機の大型機、縦型機、次世代機の販売強化**
  - ・今上期の北米電動機シェア13.2%、販売台数は50台の実績。今期目標150台
- **Fu-Chun-Shin製（台湾射出成形機メーカー）製油圧式プラスチック成形機の販売強化**

販売台数/台	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期	19/11期	20/11期 予想(上期)
FCS成形機	15	9.	21	25	17	40(9)

- **メキシコ市場における日系ユーザー攻略、非日系ユーザーの拡販**
  - ・今上期のメキシコ向け販売は、自動車業界向けに工作機械販売が大幅減

## 下期重点施策

- ・次世代モデル射出成形機の販売促進（東洋機械金属製、Fu-Chun-Shin製）

## 東南アジア

**事業環境** 新型コロナウイルスの感染拡大の影響に伴う海外経済の減速により、総じて厳しい事業環境が続くと予想

### ● 重点商品、MM会商品、食品機械の拡販。部品・サービス販売の一層の拡大

- ・タイ = 上期は工作機械が大幅減、ロボット・搬送機械、環境設備も減少  
食品機械は110百万円の売上（前年同期比27%増）
- ・マレーシア = 自動車部品の輸出事業撤退に伴い、部品売上が大幅減。工作機械は増加
- ・インドネシア = 上期は射出成形機が増加も、工作機械が大幅減
- ・ベトナム = 上期は鍛圧機械が大幅減。環境設備が増加
- ・フィリピン = 上期は射出成型機の販売が伸長。
- ・インド = 上期は工作機械の売上が大幅減。  
マルカ・インドは解散及び清算手続き開始

### 下期重点施策

- ・中国からの生産移管に関する情報のキャッチ・共有
- ・省人化、環境対策、自動化、省エネ関連ビジネスに注力

# 中国

**事業環境** 経済活動の本格再開に舵を切るも、サプライチェーンの脱中国化の動きもあり依然として不透明な状況が続くと予想

- **重点商品（東洋機械金属製品、コマツ産機製品）、MM会商品の拡販**
  - ・ 上期は工作機械、産業機械の売上が大幅減、鍛圧機械の減少。射出成形機は伸長
- **自動化・省力化装置、電気自動車関連商品の拡販（成長分野への販売強化）**
  - ・ 上期に広州でロボットシステムを受注
- **非自動車関連企業、地場企業及び日系企業の開拓**
  - ・ 上期は、大きな投資案件がなく受注に至らず
- **中国製機械の取扱拡大**

売上高/億円	11/11期	12/11期	13/11期	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期	19/11期	20/11期 予想(上期)
中国製機械	9.0	13.0	18.0	16.0	13.3	10.4	8.3	8.3	25.0	15.0(7.0)
台湾製機械	7.3	6.8	8.3	8.0	4.4	2.1	3.9	0.8	2.3	1.0(-)

## 下期重点施策

- ・ 食品や医療関係など自動車業界以外への拡販
- ・ 中国系企業の開拓

## 日本

**事業環境** 新型コロナウイルスの感染拡大の影響による設備投資の延期、見直しにより工作機械の受注回復は予想以上に遅れると予想

### ● 海外売上高

- ・ 今上期の海外売上高は94億円（海外売上高比率は33.8%）
- ・ 今期は187億円（海外売上高比率35.0%）を計画

### ● 部品・消耗品・サービス売上のさらなる拡大

売上高/億円	11/11期	12/11期	13/11期	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期	19/11期	20/11期 予想(上期)
部品・修理 消耗品	67	85	93	100	146	131	137	178	184	110(59)

### ● 重点メーカー製品の拡販

- ・ 射出成形機（東洋機械金属） → 今上期実績 7台（前上期 25台）
- ・ 鍛圧板金機械（コマツ産機） → 今上期実績 12台（前上期 23台）
- ・ DMG森精機（工作機械） → 今上期実績 5台（前上期 17台）

● **ロボットシステムの拡販**

- ・今上期のロボットシステムの国内取引実績は59台（前上期は222台の実績）
- ・Raas対応としてMM会に自動化部会を新設

● **MM会商品の取扱いをさらに拡大**

取扱高/億円	11/11期	12/11期	13/11期	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期	19/11期	20/11期 予想 (上期)
MM会商品	15	33	36	43	39	35	34	53	73	80(28)

● **新市場、成長分野への取り組み推進**

(1) 食品関連事業

- ・昨年子会社化した株式会社ミヤザワが寄与し、今上期の食品機械売上は9.8億円
- ・F-MM会商品の取扱も伸長。

(2) EV関連事業

- ・今上期のEV関連売上は2.2億円。

**下期重点施策**

- ・海外を含めた延期案件及びプロジェクト案件に加え、工事関係、改造・オーバーホール、中古機械販売等の短納期案件の取り込みに注力

## Unique Solutionsの推進

### 設立の目的

- ✓ 自社で専用機、自動機等の設計、製作、販売、修理、サービスができるエンジニアリング会社を設立し、お客様の自動化設備の需要に対応
- ✓ 将来の安定的な収益基盤を確固たるものにするため、成長分野への進出、新規事業への推進を図り、高付加価値創造型企業を目指す

### 会社の概要

名 称	PT.UNIQUE SOLUTIONS INDONESIA(予定)
所 在 地	インドネシア ブカシ県
代 表 者	未定
事 業 内 容	ロボットシステムを中心とした省力化設備、生産ライン、洗淨機消耗品等の設計、製作、販売、修理等
資 本 金	IDR 20,000,000,000(約1億5千万円)
設 立	2020年11月(予定)
出 資 比 率	当社 100%

## 日本

**事業環境** 経済活動の停滞により、建設投資や住宅投資の需要は一層弱まると予想

### ● コンクリートポンプ車の拡販

- ・今上期の販売実績は、関西、関東、九州で計17台、3.3億円の売上高  
今期は新車・中古合わせ30台を目指す

### ● 輸入建設機械商品の拡販

- ・今上期は、イタリアMagni社のテレハンドラーをはじめ計8台を販売
- ・今期は12台の販売を目指す

商品	19/11期目標		19/11期実績		20/11期目標 (上期)	
	受注	売上	受注	売上	受注	売上
イタリアMagni社のテレハンドラー	4台	1台	—	—	1台(-)	1台(1台)
フィンランドKALMAR社のリーチスタッカー	1台	—	3台	—	4台(-)	4台(3台)
ドイツERAKAT社の岩石掘削機アタッチメント	1台	2台	5台	4台	3台(-)	4台(2台)
ドイツKEMROC社の切削機アタッチメント	2台	2台	3台	1台	1台(-)	3台(2台)

### ● 基礎機械の拡販

- ・今上期は23台の販売実績

### 下期重点施策

- ・戦略的なアプローチによる短納期商品の営業展開
- ・中古車販売や及びレンタル営業の強化

# 中期経営計画

(2020年11月期～2022年11月期)

1

お取引先様から最も信頼される、唯一無二のパートナー企業

2

日米中亜の総力結集、経営資源最適化による将来の連結売上高1,000億円企業

3

食品機械など新規事業へ積極的創出を推進し、起業家精神の溢れる個性的なグローバル企業

## 経営環境

-  国内は緊急事態宣言は解除されたものの、依然として企業活動の自粛等が続き、先行き不透明な状況
-  海外においても、経済活動の再開が段階的に進められているが、経済回復への道のりは依然として厳しい状況

## 経営方針

- ① UNIQUE SOLUTIONSの探求
  - ・エンジニアリング機能を持った技術商社への変革
  - ・MM会、FMM会企業の拡充、独自の商品群の強化
  - ・日米中亜四極連携による情報共有
- ② 成長分野への進出、新規事業の推進
  - ・M & Aによる継続的かつ積極投資
  - ・食品機械事業の拡大
  - ・EV関連事業の拡大、自動化、無人化推進、AI・IoT関連ビジネスへの進出

## 数値目標(部門別)

単位：百万円

	2019/11期		2020/11期		2021/11期		2022/11期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
売上高	69,197	100%	53,500	100%	67,000	100%	72,000	100%
産業機械	59,076	85%	44,893	84%	57,126	85%	61,500	85%
建設機械	10,055	15%	8,544	16%	9,800	15%	10,420	15%
その他	65	0%	63	0%	74	0%	80	0%
営業利益	2,688	-	1,600	-	2,800	-	3,600	-
営業利益率	3.9%	-	3.0%	-	4.2%	-	5.0%	-

## 数値目標(地域別)

	2019/11期		2020/11期		2021/11期		2022/11期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
売上高	69,197	100%	53,500	100%	67,000	100%	72,000	100%
国内	39,144	57%	34,800	65%	41,000	61%	42,000	58%
海外	30,053	43%	18,700	35%	26,000	39%	30,000	42%
米州	12,397	18%	10,200	19%	12,500	19%	13,700	19%
中国	4,771	7%	3,000	6%	5,400	8%	6,700	9%
東南アジア	12,831	19%	5,500	10%	8,100	12%	9,600	13%
その他	54	0%	0	0%	0	0%	0	0%

# 株主還元

## 配当方針及び配当金の推移

配当につきましては、安定配当を基本方針とし、財務体質の強化を図りながら、利益に見合った配当を行っていく予定です。連結配当性向25%~35%を目指します

### 1株当たり配当金及び配当性向の推移

	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期	19/11期	20/11期 (予想)
中間配当	15円	15円	17円	20円	24円	24円
期末配当	20円	(※1)22円 (記念2円)	23円	(※2)25円 (記念2円)	28円	28円
年間配当	35円	37円	40円	45円	52円	52円
配当性向	17.9%	34.9%	27.7%	19.8%	16.3%	36.2%
総還元性向	43.8%	54.8%	43.3%	34.5%	19.8%	—

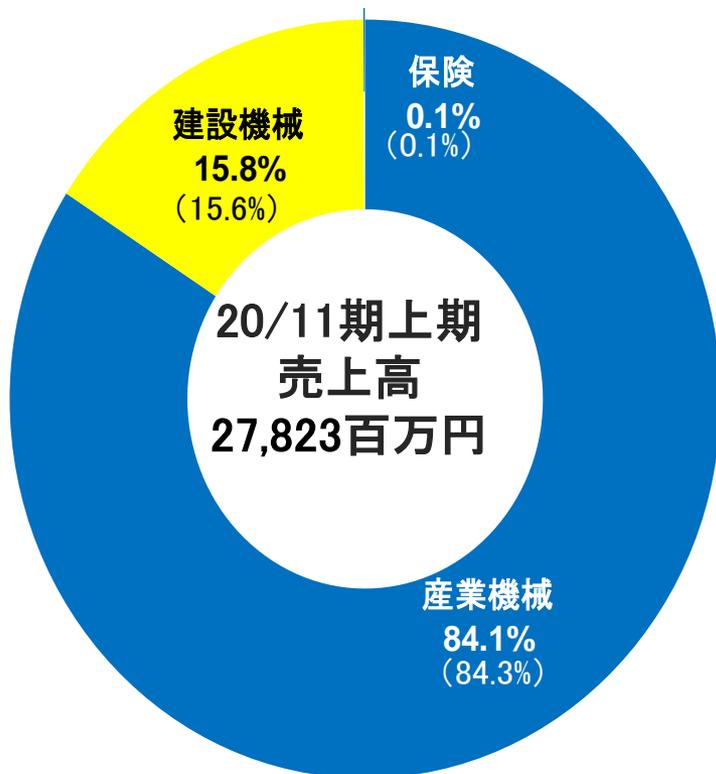
(※1) 創立70周年記念配当2円を含む (※2) 上場20周年記念配当2円を含む

\*2015年11月期に約4.5億円、2016年11月期に約1.8億円、2017年11月期に約1.9億円、2018年11月期に約2.8億円、2019年11月期に約0.9億円、2020年11月期に約2.7億円の自社株を取得

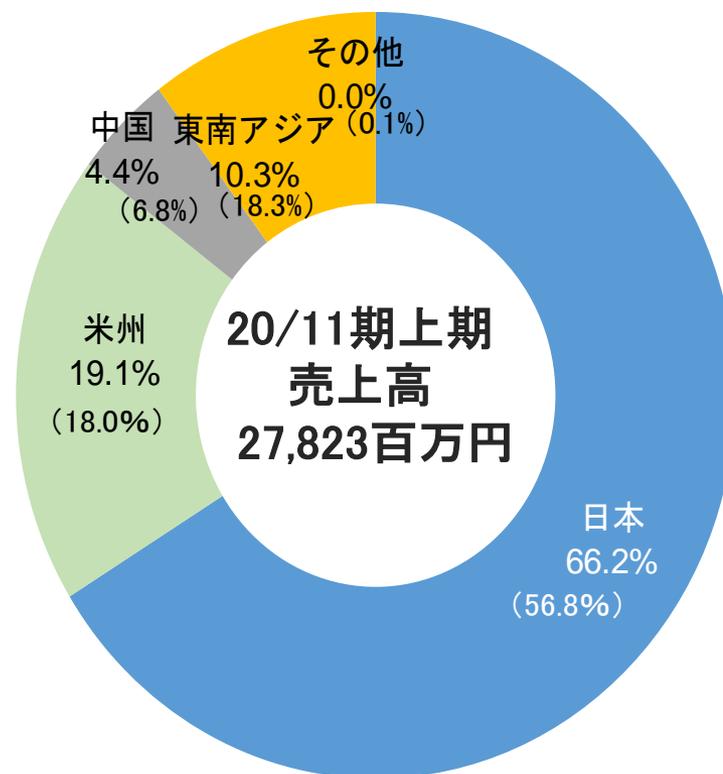
# 補足資料

日本・米国・中国・東南アジアで産業機械と建設機械の販売を行い、海外に進出する日系企業や現地企業との取引を拡大

## 部門別売上高構成



## 地域別売上高構成



※括弧内は19/11期上期売上高34,062百万円の構成比

※海外売上高には国内渡し海外仕向けを含む

生産工場の中で働く、物づくりに欠かすことのできない機械を販売

## 取扱い製品と主要取引メーカー

- ✓ 工作機械（東洋精機工業、村田機械、ジェイテクト、ツガミ、DMG森精機、OKK、ヤマザキマザック、牧野フライス、ファナック、中村留精密工業、高松機械製作所 等）
- ✓ 鍛圧機械（コマツ産機・ソノルカエンジニアリング）
- ✓ 射出成形機（東洋機械金属）
- ✓ ロボット・軸受・油圧（不二越）



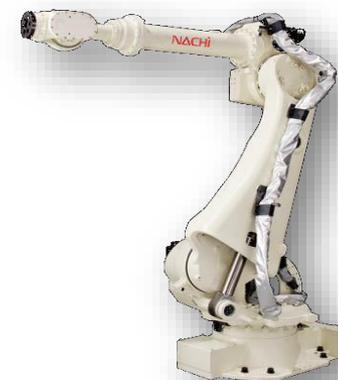
### 例①工作機械（マシニングセンタ）

金属を精密加工する機械です。自動車のエンジンや様々な部品を加工します



### 例②プラスチック射出成形機

プラスチックの原料を溶かし、型に流し込み、圧力をかけて製品を作ります。CDや携帯電話等、プラスチック製品が作られます



### 例③産業用多関節ロボット

ハンドリングロボットです。人間に代わり、製品の搬送溶接等を行います

都市のインフラ整備に欠かすことのできない機械を販売・レンタル

## 取扱い製品と主要取引メーカー

- ✓ クレーン、ショベル（コベルコ建機）
- ✓ 杭打機・圧入機（技研製作所）
- ✓ アースオーガー（三和機工）
- ✓ 発電機（デンヨー）
- ✓ 地盤改良機（ワイビーエム）



例①クローラクレーン

重量物の吊上や運搬を行います



例②地盤改良機

住宅などの建築前に、  
地盤の改良を行います



例③高所作業車

看板やディスプレイの取り付けの際に  
活躍します

国内に13か所、米州に11か所、中国に4か所、東南アジア・インドに8か所の営業拠点を配置し、グローバルなサービス体制を整備

中国・東南アジア・インド

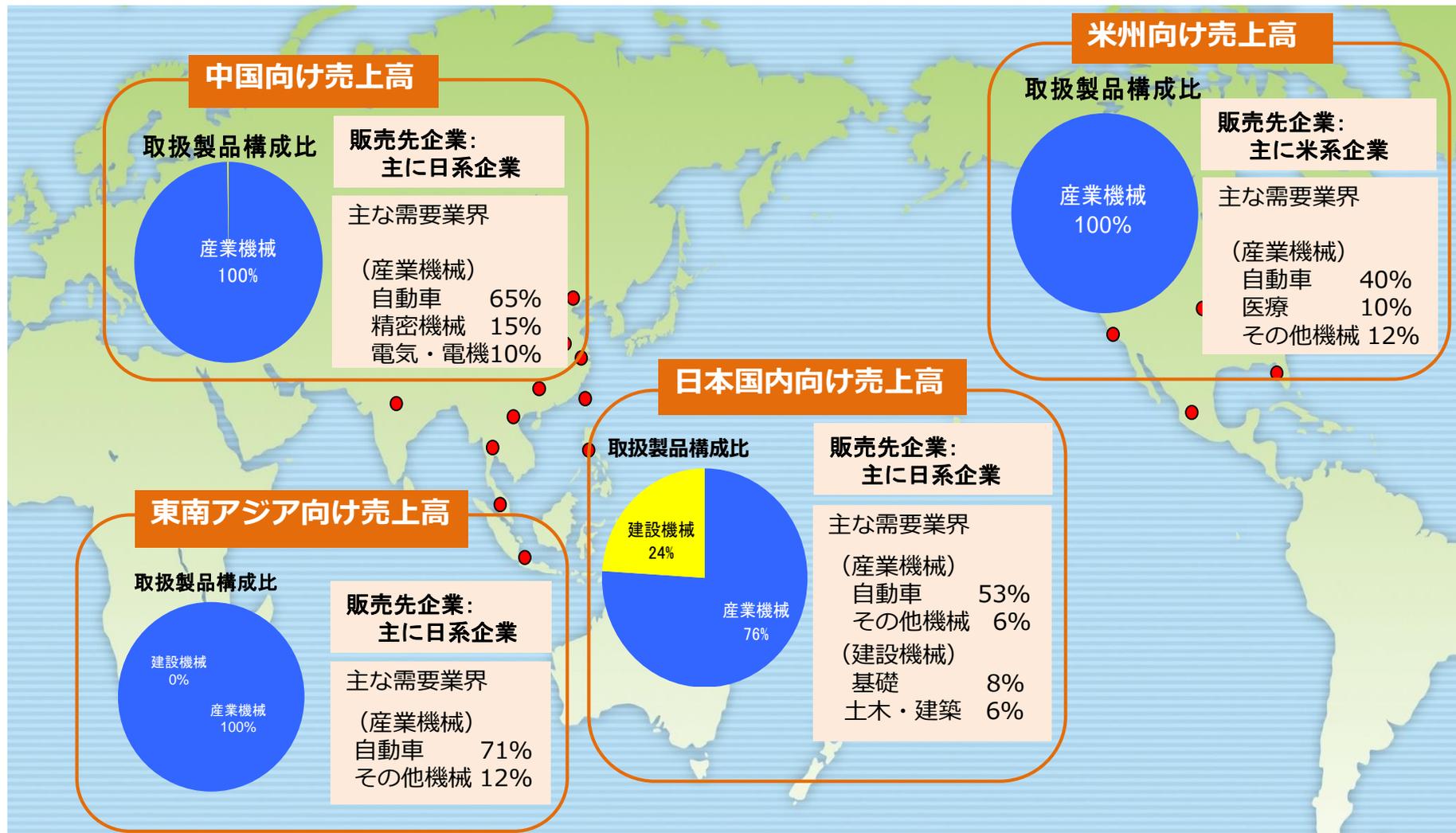


米州



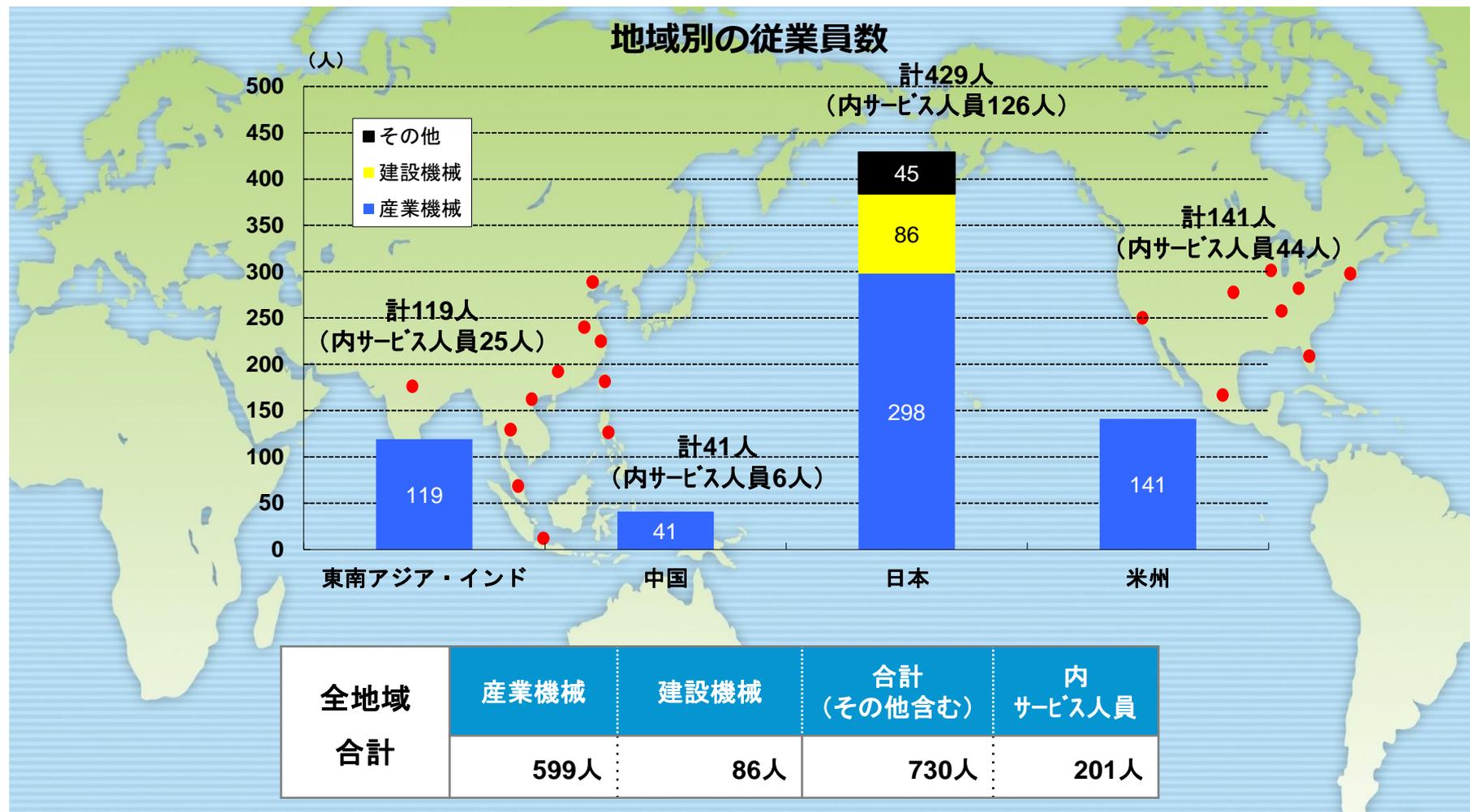
※ 2020年5月31日時点

日本・中国・東南アジアでは日系企業、北米では米系企業を主な販売先とし、世界4極で特徴のあるビジネススタイルを確立



※ 2020年5月31日時点

- 世界4極に730人を配置し、機械の販売及び部品・消耗品・サービスの取扱いを拡大
- サービス人員の育成に注力し、全体の約1/4超となる201人体制を構築



※ 2020年5月31日時点

## MM（マルカ・メーカー）会

機械専門商社であるマルカキカイと専門分野で優秀な技術を有するメーカーが協力し、販売ならびに新商品の共同開発を目的として発足。「お客様のニーズ」と「メーカーの技術」それに「マルカの持つ情報・知識」この3者の密接な連携によるシステムの構築が、当社の提案型営業を支える柱の一つとなっています

**2020年5月末日現在の会員メーカー数は、24社となっています**

会員企業	事業内容	所在地
(株)大鋳	ショットブラストマシン（ジクストリッパー）、各種研掃材	大阪府高槻市
大峰工業(株)	チップコンベア、ノタッチシステム、ツイン200	大阪市北区
(株)光栄製作所	油圧プレス、誘導加熱システム	兵庫県宝塚市
先生精機(株)	プログラムレス自動面取機、バリ取専用機、3Dインラインチェッカー	静岡県清水市
(株)コスモテック	プレス修理	名古屋市緑区
千代田工業(株)	パイプバンダー、パイプ自動加工機、FA省力機器	大阪市淀川区
(株)ユーテック	各種生産システムの設計製造、各種検査機の設計製造	大分県臼杵市
三愛エコシステム(株)	産業廃棄物適正処理システム・処理機器の設計製造販売	神奈川県厚木市
(株)紀和マシナリー	工作機械の製造販売	三重県名張市
高橋金属(株)	各種非標準洗浄装置製造、電解イオン水生成装置製造	滋賀県長浜市
(株)富士精機販売	油圧単能盤・NC旋盤・単能盤NC旋盤をベースにした専用機・穴明専用機の設計製作、自社設備用の自動化、搬送装置検査装置等の販売	愛知県小牧市

(次頁に続く)

会員企業	事業内容	所在地
(株)大進工業研究所	自動ろう付機・ろう付補助材料の製造販売、耐蝕耐熱耐摩耗金属による盛金精密鋳造品加工	大阪市大正区
ターゲット・エンジニアリング(株)	各種自動化設備の設計製造	京都市伏見区
(株)ワイエムジー	オートローダー装置、ロボットシステム装置、自動化装置設計・販売	愛知県豊橋市
(株)松井製作所	プラスチック成形用合理化機器・システムの製造販売	東京都品川区
丸昭機械(株)	各種線材加工用機械、各種工作機械、専用治工具・省力自動機械、各種試験機・設計製作	大阪市平野区
(株)ハル技研研究所	金属工作機械製造	岡山県岡山市
(株)ニチゾウテック九州事業部	エンジニアリング、技術コンサルティング、メンテナンスの3つの事業領域を連携させた総合技術サービス	熊本県玉名郡
(株)テクノス	自動化システムの製作	群馬県伊勢崎市
(株)ユニ技研	部品供給装置、搬送装置、検査装置、計測装置、各種機械設計、製作	愛知県豊橋市
ダイセイ(株)	精密測定機器製造販売、工作機械製造販売	大阪府池田市
(株)日栄機工	自動車部品製造用各種専用機製造	愛知県豊田市
ソノルカエンジニアリング(株)	コイルラインシステム、シャーライン、NCトランスファー、冷却システム	大阪府摂津市
(株)管製作所	CNC高圧洗浄機、専用工作機械	山形県天童市

(次頁に続く)

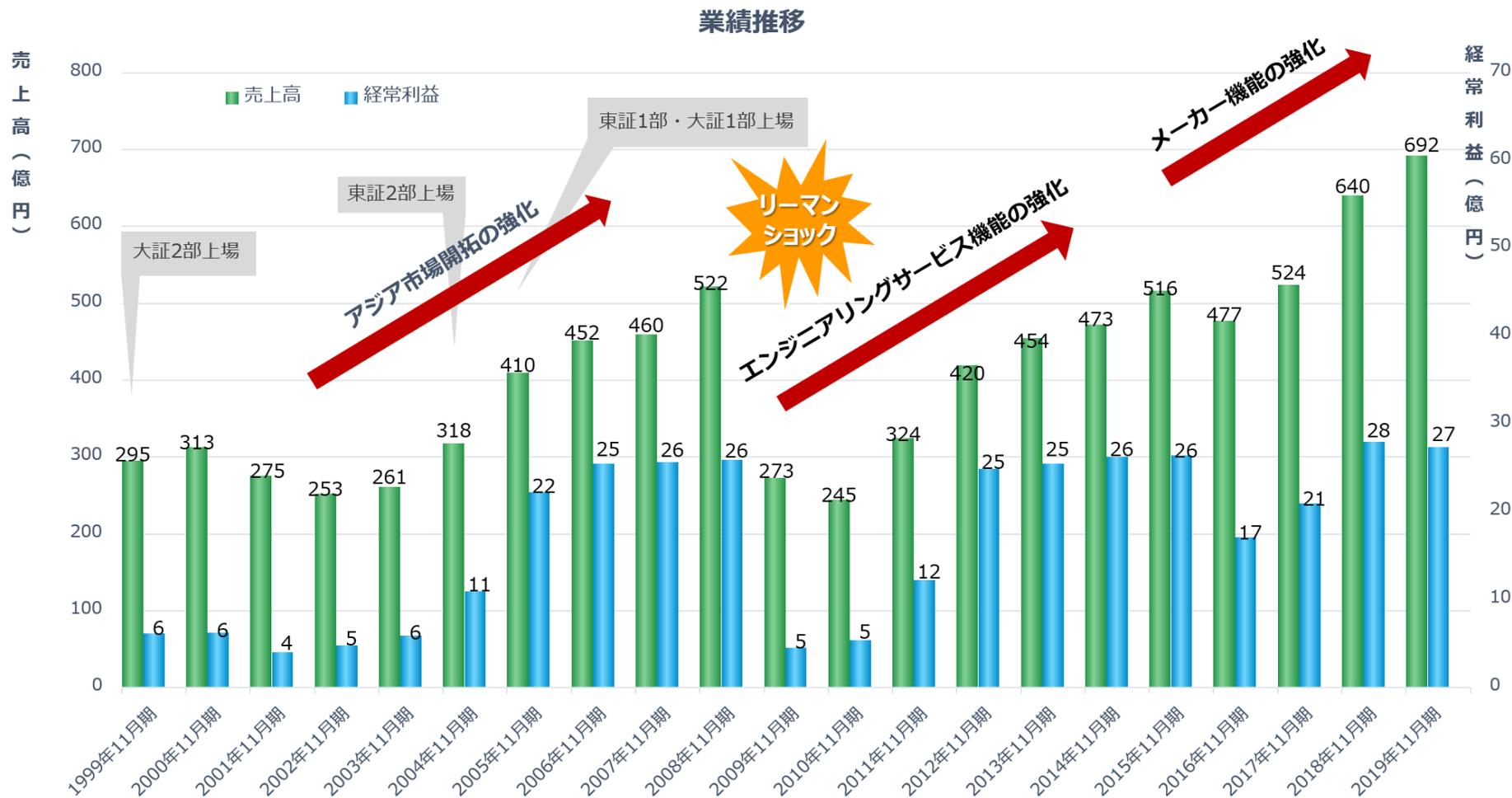
## タイMM会 12社

会員企業	事業内容	会員企業	事業内容
CHIYODA KOGYO	チューブ及びパイプベンダー	NISSEN KOHKI	洗浄機、エアリークテスター
COSMO	プレス修理、オーバーホール	ROBOT SYSTEM	パレタイジング・溶接・搬送ロボット
DENYO ASIA	溶接ケーブル、溶接機、サーボガン	SORIME	機械設計・製造、機械電装設計
EUREKA DESIGN	洗浄機、リークテスター、専用機	TAKAHASHI METAL INDUSTRIES	洗浄機、乾燥機、治具、溶接部品
KANTO ENGINEERING	産業用メンテナンス	THAI TAKIGAMI	F A電装設計、溶接機、溶接治具
DENGENSHA	各種抵抗溶接機製造・販売	TOCHU	ショットブラスト装置、水平コンベア

## F-MM会 (FOOD MAKER & MARUKA) 11社

会員企業	事業内容	所在地
トキワ工業(株)	自動包装機及び周辺機器	大阪府堺市
(株)コマック	自動制袋充填包装機械の製造	東京都足立区
高橋工業(株)	冷凍機・温湿調整装置製造	大阪府大阪市
(株)プラス機工インダコリング	利器工匠具等製造	愛媛県松山市
(株)平野製作所	産業用メンテナンス	千葉県印旛郡
マツダエース(株)	おにぎり箱詰め機	広島県広島市
(株)タイガーカワシマ	農業用機械製造	群馬県邑楽郡
(株)アースシステム 2 1	豆腐製造機械・製麺装置製造	岡山県岡山市
(株)ミヤザワ	食料品加工機械製造	長野県上伊那郡
エースシステム(株)	蒸気炊飯器、蒸気野菜調理器	大阪府和泉市
高橋金属(株)	洗浄装置製造、電解イオン水生成装置製造	滋賀県長浜市

## UNIQUE SOLUTIONSの探求



# 海外売上高・商品別売上高（連結）

## 海外売上高（国内売り・海外仕向含む）

単位:百万円、%		19/11期 上期	20/11期 上期	前年 同期比
米	州	6,132	5,317	▲13.3
中	国	2,297	1,228	▲46.5
ア	タイ	1,328	943	▲29.0
	インドネシア	816	564	▲30.8
	マレーシア	3,328	626	▲81.2
	フィリピン	197	439	123.1
ジ	インド	159	67	▲57.7
	ベトナム	322	209	▲35.3
	シンガポール	49	0	▲99.5
ア	韓国	-	-	-
	その他アジア	43	-	▲100.0
	アジア計	6,245	2,851	▲54.3
そ	の	43	-	▲100.0
合	計	14,718	9,396	▲36.2

## 商品別売上高

単位：百万円、%

	19/11期上期		20/11期上期		前年 同期比		
	売上高	構成	売上高	構成			
産 業 機 械	工作機械	8,678	25.5	7,736	27.8	▲10.8	
	鍛圧機械	3,739	11.0	3,196	11.5	▲14.5	
	射出成形機	2,632	7.7	3,232	11.6	22.8	
	ロボット物流機械	1,546	4.5	1,078	3.9	▲30.3	
	環境設備	2,108	6.2	1,427	5.1	▲32.3	
	産業機械	2,999	8.8	2,408	8.7	▲19.7	
	食品機械	182	0.5	976	3.5	434.7	
	工具軸受油圧	1,370	4.0	1,432	5.2	4.5	
	産機部品	2,939	8.6	270	1.0	▲90.8	
	産機その他	2,527	7.4	1,641	5.9	▲35.1	
	<b>産業機械計</b>	<b>28,725</b>	<b>84.3</b>	<b>23,401</b>	<b>84.1</b>	<b>▲18.5</b>	
建 設 機 械	油圧ショベル	-	0.0	29	0.1	---	
	建設用クレーン	1,153	3.4	1,395	5.0	21.1	
	基礎機械	1,737	5.1	915	3.3	▲47.3	
	その他建機	271	0.8	286	1.0	5.4	
	中古機械	1,268	3.7	848	3.0	▲33.1	
	建機レンタル	876	2.6	842	3.0	▲3.8	
	環境設備	1	0.0	0	0.0	▲47.6	
	トラクター	-	-	77	0.3	----	
		<b>建設機械計</b>	<b>5,307</b>	<b>15.7</b>	<b>4,396</b>	<b>15.8</b>	<b>▲17.2</b>
		保険・その他	29	0.1	25	0.1	▲13.1
	<b>合計</b>	<b>34,062</b>	<b>100.0</b>	<b>27,823</b>	<b>100.0</b>	<b>▲18.3</b>	

# 業界別売上高（連結）

単位:百万円、%		19/11期上期		20/11期上期		前年同期比
		売上高	構成	売上高	構成	
産業機械	自動車二輪	18,249	53.6	14,648	52.6	▲19.7
	農業機械	693	2.0	314	1.1	▲54.6
	電気電機	651	1.9	506	1.8	▲22.3
	建設機械	304	0.9	270	1.0	▲11.0
	工作機械	482	1.4	406	1.5	▲15.7
	その他機械製造	2,967	8.7	2,168	7.8	▲26.9
	精密医療機器	1,348	4.0	809	2.9	▲39.9
	IT関連	116	0.3	59	0.2	▲48.9
	食料品	176	0.5	965	3.5	445.8
	鋼製家具	27	0.1	45	0.2	62.9
	合成樹脂	1,161	3.4	847	3.0	▲27.1
	プラント加工機	-	0.0	-	0.0	---
	繊維機械	5	0.0	82	0.3	1,520.1
	防衛	98	0.3	153	0.6	55.9
	エネルギー・化学	39	0.1	4	0.0	▲88.6
	住宅建材	-	0.0	-	0.0	---
	リース	114	0.3	2	0.0	▲98.3
	商社	383	1.1	49	0.2	▲87.1
	造船	0	0.0	0	0.0	92.9
鉄道運輸	68	0.2	54	0.2	▲19.3	
航空機	320	0.9	168	0.6	▲47.4	
その他	1,524	4.6	1,852	6.6	21.7	
<b>合計</b>	<b>28,725</b>	<b>84.3</b>	<b>23,401</b>	<b>84.1</b>	<b>▲18.5</b>	

単位:百万円、%		19/11期上期		20/11期上期		前年同期比
		売上高	構成	売上高	構成	
建設機械	ゼネコン業者	57	0.2	60	0.2	5.4
	物流	202	0.6	246	0.9	21.4
	基礎	1,276	3.7	1,441	5.2	12.9
	チャーター	907	2.7	387	1.4	▲57.3
	土木・建設	1,024	3.0	1,085	3.9	6.0
	商社	695	2.0	109	0.4	▲84.2
	レンタル	505	1.5	563	2.0	11.5
	広告	105	0.3	102	0.4	▲2.1
	その他	532	1.6	398	1.4	▲25.2
	<b>建設機械計</b>	<b>5,307</b>	<b>15.6</b>	<b>4,396</b>	<b>15.8</b>	<b>▲17.2</b>
	保険・その他	29	0.1	25	0.1	▲13.1
	<b>合計</b>	<b>34,062</b>	<b>100.0</b>	<b>27,823</b>	<b>100.0</b>	<b>▲18.3</b>

## 注意事項

本資料中の予想は、決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後種々の要因によって異なる結果となる可能性があります。